

環境 ISO の現況

(平成 26 年度版)

(JIM443-1)
作成：EMS 事務局
2015 年 10 月作成

目次

<u>1 当組合のISO活動</u>	1
<u>2 基本理念・環境方針</u>	3
<u>3 エネルギーの使用及び環境負荷（平成26年度）</u>	4
<u>4 事業活動に関する環境配慮の取組状況（平成26年度）</u>	6
<u>5 目的・目標の達成状況（平成26年度）</u>	36
<u>6 環境に関連する事案等（平成26年度）</u>	38
<u>7 環境方針に基づく目的・目標（平成27年度）</u>	39

1 当組合のISO活動

当組合は、平成12年から「ISO14001」活動に取り組み、本庁サイト（本庁管理棟・クリーンピア沢・ごみ中継場）では、平成13年7月に「ISO14001」を認証取得、電気使用量や灯油及びOA用紙使用量の削減等により、環境負荷の低減に大いに貢献することができました。平成22年7月からは、環境マネジメントシステムによる活動の有効性を高め、より成熟した環境システムを目指すこととし、既存の外部認証システムよりもさらに厳しい基準設定と自己責任に基づく行動により、さらなる効果を引き出す「適合自主宣言」へと移行しました。この「適合自主宣言」は、自らの責任のもとに行うため、自力による適合維持への信頼性が問われることとなりますが、確実な内部環境監査体制と外部審査体制の連携により、ISO14001規格に適合していることを自ら実証することでその信頼性を確保します。また、平成24年4月1日からは当組合の折居清掃工場、グリーンヒル三郷山、奥山リユースセンター、クリーン21長谷山、エコ・ポート長谷山の5つの工場がISO14001適合自主宣言を行いました。

自分たちのシステムがISO14001規格に適合し、本当に使いやすいシステムになっているかという有効性を常に追求するとともに、当組合で行うすべての組織活動から生じる環境影響を減らすことができるよう、継続的改善に取り組んでいます。

適用サイト

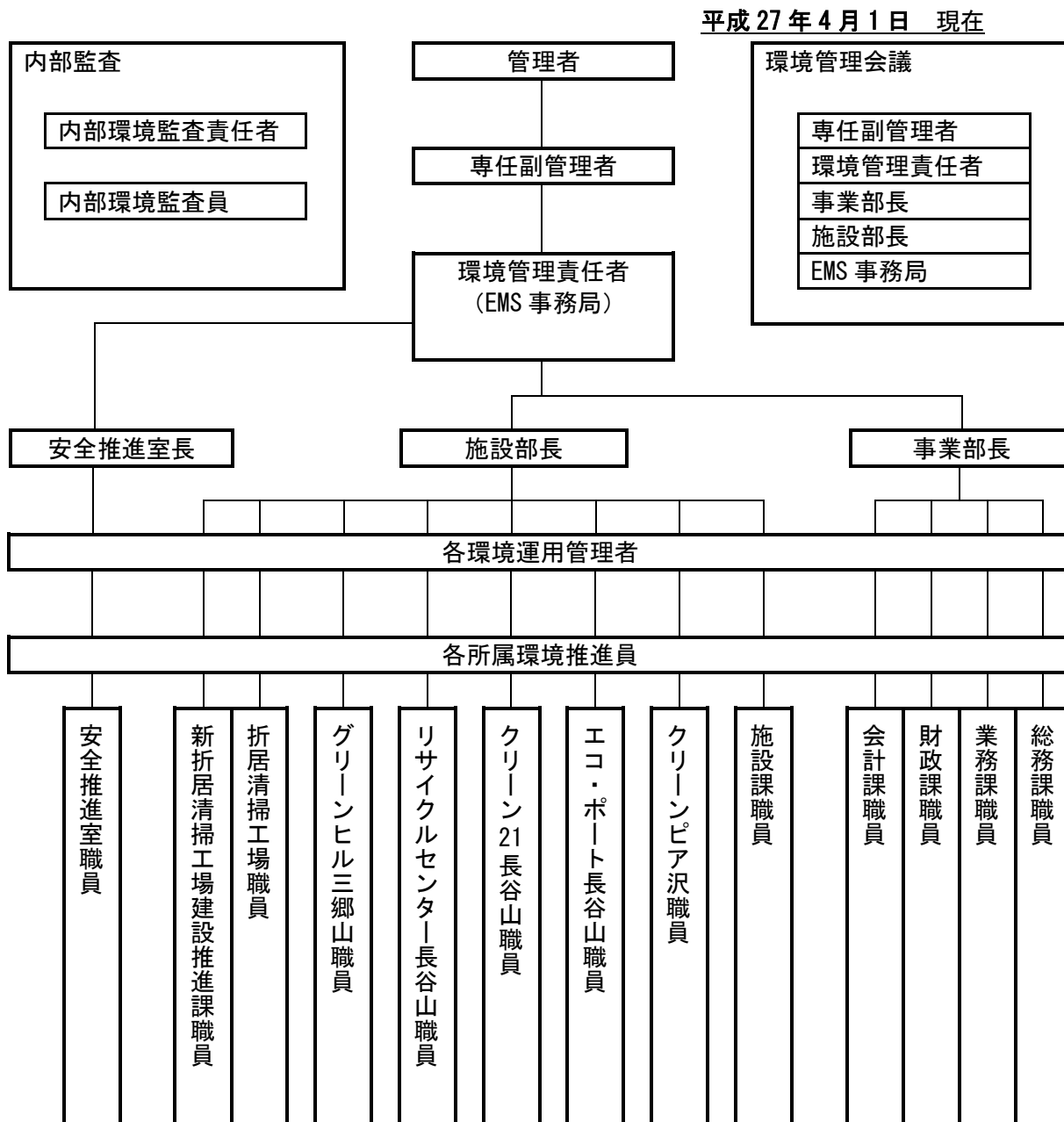
本庁サイト		クリーンピア沢サイト
安全推進室	業務課	クリーンピア沢
総務課	議会事務局	ごみ中継場サイト
財政課	施設課	施設課
会計課		
折居清掃工場サイト	クリーン21長谷山サイト	グリーンヒル三郷山サイト
折居清掃工場	クリーン21長谷山	グリーンヒル三郷山
新折居清掃工場建設推進課	奥山埋立処分地	
リサイクルセンター長谷山サイト	エコ・ポート長谷山サイト	
リサイクルセンター長谷山	エコ・ポート長谷山	

※平成27年4月より、リサイクルセンター長谷山稼働（奥山リユースセンターは、平成27年3月末まで）

環境管理推進体制

環境管理推進体制は、環境マネジメントシステムを効果的に実施及び運用するため、管理者、専任副管理者、事業部長、施設部長、環境管理責任者(EMS事務局)及び環境管理会議で構成します。

また、実行部門にあつては、各部長、各環境運用管理者とこれを補佐する各環境推進員で構成します。



※ごみ中継場サイトにかかる推進は、施設課の担当とする。

※議会事務局は総務課に含む。

2 基本理念・環境方針

○基本理念

城南衛生管理組合は、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町及び井手町の3市3町で構成する特別地方公共団体（一部事務組合）として、管内住民の日常生活から排出されるごみやし尿の処理・処分、埋め立て処分及び資源ごみのリサイクル事業等を行っています。

当組合では平成25年度の不祥事に続き、平成26年度においても基準値を超過するダイオキシン類を含んだばいじん処理物の不適切な処理が行われていたことが判明し、管内住民の皆様からの信頼を再び損なう結果となりました。

こうした中、当組合としましては、今後これらの不祥事を二度と起こさないために、再発防止対策を確実に実行するとともに、現在取り組んでいる法令順守の徹底に向けた職員への教育・指導により、職員の意識改革を徹底し、日々搬入されるごみやし尿を法令等に基づき適切に処分することで、当組合に託された管内住民の皆様からの信頼を回復することを目的として、以下の環境方針を定めます。

○環境方針

1 城南衛生管理組合は、基本理念に基づき「環境関連法規制」はもとより、自主基準や外部の利害関係者からの要望を含む「組合が同意したその他の要求事項」を順守し、汚染の予防を第1に、住民にとって信頼できる生活環境保全を図るとともに、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

これを達成するため、職員に対する教育・訓練等の機会を充実させるとともに、環境方針の周知徹底、環境関連法規制の順守の徹底に努めるほか、地球環境保全啓発活動の充実を図ります。

また、資源の有効利用、廃棄物の抑制と再資源化、大気・水質汚染物質の削減を進めるとともに、施設の改善によるより高度な処理をめざします。

具体的取組みとして次の事項を掲げます。

- (1) 環境関連法規制及び当組合が定めた自主基準の順守の徹底に向け、職員の教育、指導及び監査の機会を充実させます。
- (2) 環境影響の発生を未然に防止するため必要となる工場運営の技術、知識の確実な継承に向けたOJT活動を充実させます。
- (3) 高度な処理水質の維持及び臭気対策や、ダイオキシン類削減をはじめとする大気汚染防止を徹底します。
- (4) 適正な設備管理及び運転管理を徹底し、廃棄物を適正に処理します。
- (5) 温室効果ガスの削減を目的に、再生可能エネルギーの有効利用を進めます。
- (6) 電気、灯油、地下水、OA用紙等の資源・エネルギーの削減及び有効利用と、廃棄物抑制を基本とする3Rの取組みを進めます。
- (7) ISOの精神を十分に踏まえ、グリーン購入や壁面緑化、エコドライブなど、環境改善に寄与する活動を積極的に推進します。
- (8) 剪定樹木のリサイクルに努めます。

- (9) 環境マネジメントシステムを日常業務に応用し、活用します。
- 2 城南衛生管理組合が保有する環境に関する情報は、積極的に組合内外に公表します。また環境方針は、広報紙「エコネット城南」やホームページ「城南衛生管理組合」等を活用し、何人にも公開します。
- 3 「地球温暖化対策実行計画 地球元気プランⅢ」を推進し、温室効果ガスの削減に努めます。
- 4 ISO14001適合サイトは、本庁、クリーンピア沢、ごみ中継場、折居清掃工場、リサイクルセンター長谷山、グリーンヒル三郷山、クリーン21長谷山、エコ・ポート長谷山とします。

3 エネルギーの使用及び環境負荷（平成26年度）

(1) エネルギー使用状況

電気・灯油・軽油・ガソリン・液化石油ガス

活動項目	年度	H25年度	H26年度	対前年度比	
		2013	2014	(増減)	%
電気 (kWh)		-2,697,148.00	3,341,268.00	6,038,416.00	-
電気使用 (kWh)		11,082,211.00	11,421,978.00	339,767.00	3.07%
売電 (kWh)		-13,779,359.00	-8,080,710.00	5,698,649.00	41.36%
灯油 (ℓ)		518,597.00	594,901.00	76,304.00	14.71%
軽油 (ℓ)		56,141.70	65,751.24	9,609.54	17.12%
ガソリン (ℓ)		7,759.12	7,640.67	-118.45	-1.53%
液化石油ガス (kg)		4,199.10	3,042.80	-1,156.30	-27.54%

(2) 環境負荷の現状

温室効果ガス排出量は、各施設における電気（使用・売電）量、燃料使用量、一般廃棄物処理量などを基に、各温室効果ガスの地球温暖化係数を乗じて排出量を算定しています。

(単位：t-CO₂) (新換算値)

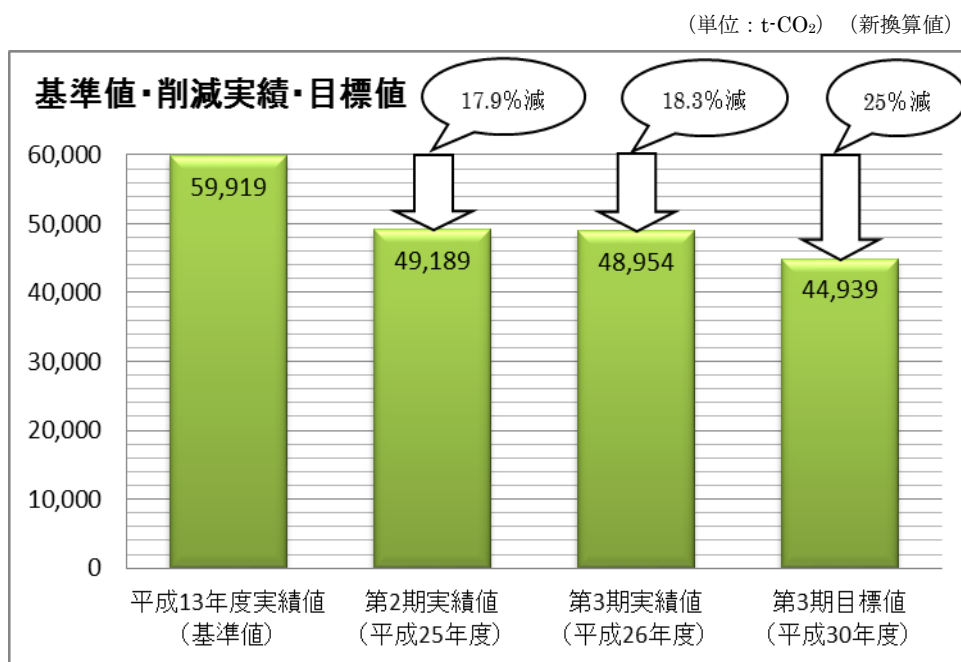
活動項目	年度	H25年度	H26年度	対前年度比	
		2013	2014	(増減)	%
電気		-1,386	1,717	3,103	-
電気使用		5,696	5,871	175	3.07%
売電		-7,082	-4,154	2,928	41.34%
燃料		1,467	1,678	211	14.38%
灯油		1,291	1,481	190	14.72%
軽油		145	170	25	17.24%
ガソリン		18	18	0	0.00%
液化石油ガス		13	9	-4	-30.77%
一般廃棄物		49,107	45,558	-3,549	-7.23%
焼却・埋立		1,997	1,834	-163	-8.16%
廃プラスチック焼却		47,110	43,724	-3,386	-7.19%
その他		1	1	0	0.00%
合計		49,189	48,954	-235	-0.48%

温室効果ガス項目別排出量における主な増減では、電気使用について、奥山埋立処分地における排水処理施設の再稼働や、発電設備を擁するクリーン21長谷山の稼働減少等により平成25年度実績と比べ3,103 t-CO₂の増加となりました。

しかし、温室効果ガス排出量の多い廃プラスチックについては、1月から稼働開始したりリサイクルセンター長谷山（プラスチック製容器包装処理）でリサイクルを始めたことにより焼却量が減少し、平成25年度実績と比べ3,386 t-CO₂の削減となり、電気使用に係るCO₂の増加分を廃プラスチック焼却量減少によるCO₂の削減が補う形になりました。

(3) 城南衛生管理組合地球温暖化対策実行計画について

当組合では、行政機関として率先して地球温暖化防止の対策を進めるため、平成16年6月の地球温暖化対策実行計画書「地球元気プラン」（平成16～20年度の5年間）、平成21年10月の「地球元気プランⅡ」（平成21～25年度の5年間）に引き続き、平成26年度には「地球元気プランⅢ（基準年度を平成13年度とし、平成30年度においてCO₂排出量25%削減を目標）」を策定し、取組んだ結果、平成26年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度比18.3%の減量になりました。また、平成25年度比では0.48%の減量となりました。



4 事業活動に関する環境配慮の取組状況（平成26年度）

当組合の事業活動に関する環境関連法規制を特定し順守しています。また各サイトが独自に定める自主基準及び地域協定も、法規制と同等に扱っています。

○事業活動に関する主な法規制

基本事項	騒音振動悪臭
環境基本法	騒音規制法
グリーン購入法	振動規制法
地球環境	悪臭防止法
地球温暖化対策推進法	化学物質
省エネルギー法	ダイオキシン対策法
フロン排出抑制法	P R T R 法
大気保全	その他
大気汚染防止法	環境アセスメント法
水質保全	公害健康被害補償法
水質汚濁防止法	労働安全衛生法
瀬戸内海環境保全法	消防法
浄化槽法	京都府条例
廃棄物・リサイクル	京都府環境を守り育てる条例
循環型社会基本法	京都府温暖化対策条例
廃棄物処理法	構成市町条例
P C B 廃棄物特別措置法	公害防止協定
容器包装リサイクル法	

(1) 監視・測定

各施設では、環境に影響を与える側面（物質）を特定し、監視・測定しています。

ア) ダイオキシン類

平成26年度 ダイオキシン類測定結果一覧表

	調査工場・地点		ダイオキシン類濃度	基準値等
排ガス	折居清掃工場	1号焼却炉	0.018ng-TEQ/m ³ N	1ng-TEQ/m ³ N
		2号焼却炉	0.0098ng-TEQ/m ³ N	
	クリーン21長谷山	1号焼却炉	0.000039ng-TEQ/m ³ N	0.1ng-TEQ/m ³ N *H12.1.15以降 設置基準
		2号焼却炉	0.0000013ng-TEQ/m ³ N	
		小動物 焼却炉	0.00037ng-TEQ/m ³ N	10ng-TEQ/m ³ N
クリーンピア沢	汚泥 焼却炉	0.042ng-TEQ/m ³ N		
ばいじん (飛灰)	折居清掃工場	熱分解 装置出口	0.00021ng-TEQ/g	酸抽出により適 用除外
	クリーン21長谷山	キレート 処理装置 出口	0.27ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g *H12.1.15以降 設置基準
焼却灰等	折居清掃工場	1号焼却炉	0ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
		2号焼却炉	0.011ng-TEQ/g	
	クリーン21長谷山	1号焼却炉	0.0026ng-TEQ/g	
		2号焼却炉	0.044ng-TEQ/g	
		小動物 焼却炉	0ng-TEQ/g	
クリーンピア沢	汚泥 焼却炉	0ng-TEQ/g		
排水	奥山排水処理施設	原水	0.089pg-TEQ/L	—
		処理水	0.018pg-TEQ/L	0.1pg-TEQ/L
	グリーンヒル三郷山（処理水）		0.000015pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
	クリーンピア沢（処理水）		0pg-TEQ/L	
	クリーン21長谷山（処理水）		0.070pg-TEQ/L	0.1pg-TEQ/L （自主規制基準 値）
	特定事業場出口（処理水） ※クリーン21長谷山処理水及び奥山排水処 理施設処理水の合流出口		0pg-TEQ/L	
周辺土壌	宇治市		0.024pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g
			2.9pg-TEQ/g	
	城陽市		0.21pg-TEQ/g	
	宇治田原町		0.28pg-TEQ/g	
焼却場 用地内	折居清掃工場		9.0pg-TEQ/g	
	クリーン21長谷山		48pg-TEQ/g	
※クリーンピア沢のばいじんは焼却炉に循環する構造であるため調査対象外				

平成26年度のダイオキシン類自主測定結果について

測定箇所		測定結果概要 (ng-TEQ/g)	測定回数	基準値等	
クリーン21 長谷山	焼却灰	1号炉	0.0015~0.086	15回	3ng-TEQ/g
		2号炉	0.0016~0.019	14回	
	集じん灰	0.12~1.6	24回		
折居清掃工場	脱水ケーキ	0.000015~0.0027	3回	酸抽出により適用除外	

○クリーン21長谷山における自主測定の実施頻度

平成26年6月23日以降、設備稼働時に概ね週1回実施

平成26年12月22日以降、設備稼働時に概ね月1回実施

○折居清掃工場については、当初、性状確認として3回実施(平成26年6月~7月)

イ) 排ガス

平成26年度クリーンピア沢 排ガス測定結果一覧表
 汚泥乾燥焼却設備

測定日	項目	単位	法規制値	測定値
平成26年6月16日	ばいじん	g/m ³ N	0.25	0.014
	硫黄酸化物(排出量)	m ³ N/h	1.93	0.1356
	硫黄酸化物(K値)	-	2.34	0.1647
	窒素酸化物	volppm	-	53
	塩化水素	mg/m ³ N	700	4.6
測定日	項目	単位	法規制値	測定値
平成26年12月19日	ばいじん	g/m ³ N	0.25	0.005未満
	硫黄酸化物(排出量)	m ³ N/h	1.93	0.1219
	硫黄酸化物(K値)	-	2.34	0.1395
	窒素酸化物	volppm	-	72
	塩化水素	mg/m ³ N	700	3.7

平成26年度折居清掃工場 排ガス測定結果一覧表

1号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度		塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算		12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm		mg/m ³ N	volppm
						湿ベース	乾ベース		
平成26年 6月27日	7月4日	<0.005	<0.20	<0.0049	<0.00100	59	76	5.3	3.3
平成26年 7月7日	7月24日	<0.005	<0.13	<0.0032	<0.00066	42	53	<1.0	<1.0
平成26年 10月14日	10月31日	<0.005	<0.38	<0.0101	<0.00204	54	66	1.2	<1.0
平成26年 11月14日	11月25日	<0.005	<0.19	<0.0055	<0.00109	64	77	1.2	<1.0
平成27年 2月27日	3月9日	<0.005	<0.18	<0.0050	<0.00101	54	65	<1.0	<1.0
平成27年 3月12日	3月27日	<0.005	<0.30	<0.0078	<0.00162	53	62	1.3	<1.0
平均		0.005	0.23	0.0061	0.00124	54	67	1.8	1.4
規制値		≤0.08		≤1.60	≤2.34		≤250	≤700	≤430
管理値		≤0.02	≤19			≤100			≤19

2号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度		塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算		12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm		mg/m ³ N	volppm
						湿ベース	乾ベース		
平成26年 4月9日	4月22日	<0.005	<0.51	<0.0141	<0.00281	58	71	1.2	<1.0
平成26年 5月12日	6月4日	<0.005	<0.26	<0.0074	<0.00145	52	66	2.3	1.4
平成26年 8月22日	8月29日	<0.005	<0.20	<0.0053	<0.00106	46	57	1.4	<1.0
平成26年 9月11日	9月26日	<0.005	<0.13	<0.0036	<0.00071	31	40	1.1	<1.0
平成26年 12月10日	12月19日	<0.005	<0.24	<0.0062	<0.00128	45	52	<1.0	<1.0
平成27年 1月9日	1月23日	<0.005	<0.12	<0.0031	<0.00064	67	78	1.2	<1.0
平均		0.005	0.24	0.0066	0.00133	50	61	1.4	1.1
規制値		≤0.08		≤1.60	≤2.34		≤250	≤700	≤430
管理値		≤0.02	≤19			≤100			≤19

平成26年度クリーン21長谷山 排ガス測定結果一覧表

1号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算	12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm	mg/m ³ N	volppm
平成26年 5月23日	6月2日	<0.005	1.71	<0.045	<0.008	14	2.8	1.7
平成26年 7月1日	7月24日	<0.005	<0.40	<0.010	<0.002	15	1.8	1.1
平成26年 10月3日	10月31日	<0.005	1.60	0.037	0.007	22	1.2	<1.0
平成26年 11月14日	12月5日	<0.005	1.81	0.041	0.008	29	<1.0	<1.0
平成27年 1月9日	1月23日	<0.005	<0.67	<0.017	<0.003	22	1.3	<1.0
平成27年 3月2日	3月10日	<0.005	<0.67	<0.018	<0.003	25	<1.0	<1.0
平均		0.005	1.14	0.028	0.005	21	1.5	1.1
規制値		≦0.04		≦2.479	≦2.34	≦250	≦700	≦430
管理値		≦0.01	≦25			≦30	≦40	≦24.5

2号炉

採取日	検査結果日	ばいじん濃度	硫黄酸化物			窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	
		12%酸素換算	濃度	排出量	K値	12%酸素換算	12%酸素換算	
		g/m ³ N	volppm	m ³ N/h		volppm	mg/m ³ N	volppm
平成26年 4月15日	4月25日	<0.005	1.47	0.038	0.007	17	4.5	2.8
平成26年 6月2日	6月13日	<0.005	1.22	0.034	0.006	11	3.8	2.3
平成26年 8月28日	9月8日	<0.005	1.02	0.026	0.005	23	<1.0	<1.0
平成26年 10月27日	11月17日	0.007	1.04	0.023	0.004	26	<1.0	<1.0
平成26年 12月10日	12月19日	<0.005	<0.97	<0.021	<0.004	24	1.1	<1.0
平成27年 3月12日	3月27日	<0.005	<0.86	<0.021	<0.004	20	<1.0	<1.0
平均		0.005	1.10	0.027	0.005	20	2.1	1.5
規制値		≦0.04		≦2.479	≦2.34	≦250	≦700	≦430
管理値		≦0.01	≦25			≦30	≦40	≦24.5

ウ) 排水

平成26年度 クリーンピア沢総合処理水分析結果

項 目	単 位	公害防止基準値	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
採 水 日			4月9日	5月7日	6月4日	7月2日	8月6日	9月3日	10月8日	11月5日	12月3日	1月14日	2月4日	3月11日
色 度	度		2	2	1	<1	1	1	2	<1	2	1	2	<1
P H		5.8~8.6	7.0	6.7	6.9	7.1	7.2	6.7	7.1	6.9	7.9	6.6	7.1	6.5
浮遊物質	mg/L	70(日間平均)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
B O D	mg/L	20(日間平均)	0.8	1.7	<0.5	0.9	1.3	0.9	<0.5	1.5	0.6	0.5	1.2	0.6
C O D	mg/L	20	3.3	2.6	3.4	3.2	3.0	2.1	3.1	2.4	4.6	3.8	3.3	3.3
全 リ ン	mg/L	2	0.04	0.02	0.05	0.03	0.07	0.01	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01
塩化物イオン	mg/L		87	67	120	90	92	160	110	140	79	80	85	110
大腸菌群数	個/cm3	3,000個(日間平均)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
全 窒 素	mg/L	20	1.9	1.6	1.1	0.9	1.4	1.3	1.3	2.0	1.1	0.8	1.2	1.1

平成26年度 グリーンヒル三郷山排水処理施設 放流水

①放流水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
項 目	採水日	H26.4.10	H26.5.8	H26.6.12	H26.7.10	H26.8.14	H26.9.11	H26.10.9	H26.11.13	H26.12.11	H27.1.8	H27.2.12	H27.3.12
	検査結果日 基準値	H26.4.18	H26.5.22	H26.6.19	H26.7.23	H26.8.28	H26.9.26	H26.10.23	H26.11.26	H26.12.22	H27.1.19	H27.2.25	H27.3.19
P H	5.8~8.6	8.2	7.9	7.9	7.8	7.8	8.0	8.0	7.8	8.0	7.8	8.0	7.9
B O D	≦60mg/l	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.7	0.5	<0.5
C O D	≦90mg/l	<0.5	0.8	0.6	<0.5	1.5	0.5	<0.5	1.2	1.1	0.9	0.8	1.1
S S	≦60mg/l	<1	<1	<1	<1	<1	2	1	2	<1	1	1	1
大腸菌群数	≦3,000個/ml	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全窒素	≦60mg/l	1.3	3.2	2.5	0.8	0.7	0.6	0.1	<0.1	0.3	<0.1	0.3	0.3
全リン	≦8mg/l	0.04	0.04	0.06	0.09	0.14	0.06	0.07	0.02	0.02	0.01	<0.01	0.05

※ 放流水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第一に基づくものです。

平成26年度 グリーンヒル三郷山排水処理施設 放流水

②放流水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	測定値
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	mg/l	H26.5.8	H26.5.22	≦5	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)	mg/l			≦30	<1
フェノール類含有量	mg/l			≦5	<0.02
銅含有量	mg/l			≦3	<0.05
亜鉛含有量	mg/l			≦2	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/l			≦10	<0.05
溶解性マンガン含有量	mg/l			≦10	<0.05
クロム含有量	mg/l			≦2	<0.05
カドミウム及びその化合物	mg/l			≦0.1	<0.01
シアン化合物	mg/l			≦1	<0.1
有機燐化合物	mg/l			≦1	<0.1
鉛及びその化合物	mg/l			≦0.1	<0.01
六価クロム化合物	mg/l			≦0.5	<0.05
砒素及びその化合物	mg/l			≦0.1	<0.01
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l			≦0.005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/l			検出されないこと	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			≦0.003	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/l			≦0.3	<0.03
テトラクロロエチレン	mg/l			≦0.1	<0.01
ジクロロメタン	mg/l			≦0.2	<0.02
四塩化炭素	mg/l			≦0.02	<0.002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≦0.04	<0.004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≦1	<0.02
シス-1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.4	<0.04
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≦3	<0.3
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≦0.06	<0.006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≦0.02	<0.002
チウラム	mg/l			≦0.06	<0.006
シマジン	mg/l			≦0.03	<0.003
チオベンカルブ	mg/l			≦0.2	<0.02
ベンゼン	mg/l			≦0.1	<0.01
セレン及びその化合物	mg/l			≦0.1	<0.01
1・4-ジオキサン	mg/l			≦10	<0.005
ほう素及びその化合物	mg/l			≦50	1
ふっ素及びその化合物	mg/l	≦15	<0.8		
アンモニア・アンモニウム化合物	mg/l	H26.7.1	H26.10.1	≦200	3.0
亜硝酸化合物及び硝酸化合物					
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l				
PCDDs+PCDFS	pg-TEQ/l			—	0
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.000015

※ 放流水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第一に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第二に基づくものです。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

平成26年度 グリーンヒル三郷山埋立処分地周縁地下水

①地下水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採水日		H26.4.10	H26.5.8	H26.6.12	H26.7.16 H26.7.10	H26.8.14	H26.9.11	H26.10.9	H26.11.13	H26.12.11	H27.1.8	H27.2.12	H27.3.12
検査結果日		H26.4.18	H26.5.22	H26.6.19	H26.7.23	H26.8.28	H26.9.26	H26.10.23	H26.11.26	H26.12.22	H27.1.19	H27.2.25	H27.3.19
塩化物イオン (mg/l)	NO. 1	19	24	7.0	12	4.9	5.5	4.9	7.8	14	14	14	11
	NO. 2	10	14	14	27	12	11	8.6	10	17	12	8.8	7.5

※ 地下水の測定につきましては、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、第一条第二項第十号ハに基づき、塩化物イオンを測定しています。

※ グリーンヒル三郷山については、地下排水をNo.1、モニタリング井戸をNo.2とする。

※ 参考基準 … 飲料水基準では200mg/l以下

平成26年度 グリーンヒル三郷山埋立処分地周縁地下水

②地下水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	No.1	No.2
カドミウム	mg/l	H26.5.8	H26.5.22	≦0.01	<0.001	<0.001
全シアン	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
鉛	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
六価クロム	mg/l			≦0.05	<0.005	<0.005
砒素	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l			≦0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/l			≦0.03	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	mg/l			≦0.01	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	mg/l			≦0.02	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/l			≦0.002	<0.0002	<0.0002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≦0.004	<0.0004	<0.0004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.1	<0.01	<0.01
1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.04	<0.004	<0.004
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≦1	<0.1	<0.1
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≦0.006	<0.0006	<0.0006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≦0.002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l			≦0.006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l			≦0.003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l			≦0.02	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/l	≦0.01	<0.001	<0.001		
セレン	mg/l	≦0.01	<0.001	<0.001		
1・4-ジオキサン	mg/l	≦0.05	<0.005	<0.005		
塩化ビニルモノマー	mg/l	≦0.002	<0.0002	<0.0002		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	H26.7.1	H26.10.1	≦1.00	0.022	0.018
PCDDs + PCDFs	pg-TEQ/l			—	0.017	0.017
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.0044	0.00087

※ 地下水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第二に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準値であります。

※ グリーンヒル三郷山については、地下排水をNo.1、モニタリング井戸をNo.2とする。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(8月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回				測定頻度
			1	2	3	4	
採水日	—	—	H26.8.13	H26.8.14	H26.8.21	H26.8.28	—
検査結果日	—	—	H26.8.18	H26.8.27	H26.8.26	H26.9.10	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6		8.2			月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≤8(日間平均)		0.6			月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≤20(日間平均)	5.9		2.6	4.9	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≤10		<1			月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≤4		<1			月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量)	mg/l	≤24		<1			月1回
フェノール類含有量	mg/l	≤0.02		<0.01			月1回
銅含有量	mg/l	≤0.1		<0.05			月1回
亜鉛含有量	mg/l	≤2		<0.05			月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≤1		<0.05			月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≤3.9		<0.05			月1回
クロム含有量	mg/l	≤1.6		<0.05			月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≤1		0			月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≤8(日間平均)		0.5		0.5	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≤0.5(日間平均)		0.03		0.01	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≤1.6		<0.01			月1回
【備考】 8月7日から放流再開 採水箇所は処理水槽							

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(9月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回						測定頻度
			1	2	3	4	5	6	
採水日	—	—	H26.9.4	H26.9.10	H26.9.11	H26.9.18	H26.9.24	H26.9.25	—
検査結果日	—	—	H26.9.16	H26.9.25	H26.9.24	H26.9.24	H26.9.29	H26.10.8	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6			8.0				月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)			1.1				月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	4.8	4.5		5.7	6.5		週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10			<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4			<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量)	mg/l	≦24			<1				月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02			<0.01				月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1			<0.05				月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2			<0.05				月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1			<0.05				月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9			<0.05				月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6			<0.05				月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1			0				月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)			1.0			0.7	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)			0.03			0.02	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6			<0.01				月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽									

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(10月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回							測定頻度
			1	2	3	4	5	6	7	
採水日	—	—	H26.10.2	H26.10.8	H26.10.9	H26.10.15	H26.10.22	H26.10.23	H26.10.29	—
検査結果日	—	—	H26.10.15	H26.10.17	H26.10.22	H26.10.22	H26.10.29	H26.11.7	H26.11.4	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6			8.3					月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)			0.7					月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	8.5	7.2	6.1	6.6	4.2		2.4	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10			1					月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4			<1					月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24			<1					月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02			<0.01					月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1			<0.05					月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2			<0.05					月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1			<0.05					月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9			<0.05					月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6			<0.05					月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1			0					月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)			0.9			0.9		放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)			0.03			0.03		放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6			0.01					月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽										

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(11月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回							測定頻度
			1	2	3	4	5	6	7	
採水日	—	—	H26.11.5	H26.11.6	H26.11.12	H26.11.13	H26.11.19	H26.11.26	H26.11.27	—
検査結果日	—	—	H26.11.11	H26.12.8	H26.11.19	H26.11.26	H26.11.25	H26.12.5	H26.12.10	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6				7.9				月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)				1.2				月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	3.6		6.2		4.0	4.0		週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10				2				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4				<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量)	mg/l	≦24				<1				月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02				<0.01				月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1				<0.05				月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2				<0.05				月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1				<0.05				月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9				<0.05				月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6				<0.05				月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1				0				月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)		0.7		0.4			0.3	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)		0.02		0.03			0.06	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6				0.01				月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽										

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(12月)

①放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回						測定頻度
			1	2	3	4	5	6	
採水日	—	—	H26.12.3	H26.12.10	H26.12.11	H26.12.17	H26.12.24	H26.12.25	—
検査結果日	—	—	H26.12.10	H26.12.17	H26.12.25	H26.12.24	H27.1.6	H27.1.7	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6			8.2				月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)			3.9				月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	2.7	4.6		7.1	16		週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10			2				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4			<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24			<1				月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02			<0.01				月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1			<0.05				月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2			<0.05				月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1			<0.05				月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9			<0.05				月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6			<0.05				月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1			0				月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)			0.6			1.0	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)			0.06			0.06	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6			<0.01				月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽									

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(1月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回								測定頻度
			1	2	3	4	5	6	7	8	
採水日	—	—	H27.1.2	H27.1.7	H27.1.8	H27.1.14	H27.1.15	H27.1.21	H27.1.28	H27.1.29	—
検査結果日	—	—	H27.1.9	H27.1.13	H27.1.19	H27.1.22	H27.1.29	H27.1.29	H27.1.29	H27.2.9	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6					8.1				月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)					6.9				月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	※23	12		8.5	8.2	7.6	3.5		週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10					2				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4					<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24					<1				月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02					<0.01				月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1					<0.05				月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2					<0.05				月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1					<0.05				月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9					0.07				月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6					<0.05				月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1					0				月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)			0.3		0.5			<0.1	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)			0.03		0.03			0.02	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6					<0.01				月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽 ※ 1月2日採水のCODについて、基準値(維持管理計画で定めた生活環境保全上達成することとした数値)を超過しました。 なお、水質汚濁防止法上の排出基準は日間平均120mg/l以下であり、ただちに健康被害等のおそれがある値ではありません。											

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(2月)

① 放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回							測定頻度
			1	2	3	4	5	6	7	
採水日	—	—	H27.2.4	H27.2.5	H27.2.12	H27.2.13	H27.2.18	H27.2.19	H27.2.25	—
検査結果日	—	—	H27.2.19	H27.2.19	H27.2.24	H27.2.24	H27.3.3	H27.3.3	H27.3.9	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6				8.1				月1回
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)		1.3		0.5		0.5		月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	3.8	※2.9	1.4	※1.7	2.5	※2.2	2.4	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10				<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4				<1				月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24				<1				月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02				<0.01				月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1				<0.05				月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2				<0.05				月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1				<0.05				月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9				<0.05				月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6				<0.05				月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1				0				月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)			0.1	0.1			0.3	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)			0.06	0.02			0.02	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6				<0.01				月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽 ※ 2/5、2/13及び2/19のCOD測定は、前月(1/2)の基準値超過による監視体制強化によるものですが、3検体混合試料ではないため参考値扱いとします。										

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】(3月)

①放流水の水質(月1回、週1回及び放流14日毎に1回実施項目)

項目	単位	基準値	測定回					測定頻度
			1	2	3	4	5	
採水日	—	—	H27.3.4	H27.3.11	H27.3.12	H27.3.18	H27.3.25	—
検査結果日	—	—	H27.3.10	H27.3.19	H27.3.24	H27.3.24	H27.3.31	—
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6			8.1			月1回
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/l	≦8(日間平均)			<0.5			月1回
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	≦20(日間平均)	2.1	2.9		3.4	3.7	週1回
浮遊物質(SS)	mg/l	≦10			<1			月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/l	≦4			<1			月1回
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/l	≦24			<1			月1回
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02			<0.01			月1回
銅含有量	mg/l	≦0.1			<0.05			月1回
亜鉛含有量	mg/l	≦2			<0.05			月1回
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1			<0.05			月1回
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9			<0.05			月1回
クロム含有量	mg/l	≦1.6			<0.05			月1回
大腸菌群数	個/cm ³	≦1			0			月1回
窒素含有量(T-N)	mg/l	≦8(日間平均)		0.5			0.4	放流14日毎 若しくは月1回
燐含有量(T-P)	mg/l	≦0.5(日間平均)		0.03			0.01	放流14日毎 若しくは月1回
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6			<0.01			月1回
【備考】 採水箇所は処理水槽								

平成26年度 奥山排水処理施設放流水【処理水槽】

②放流水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	測定結果
アルキル水銀化合物	mg/l	H26.10.9	H26.10.22	検出されないこと	不検出
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l			≦0.0025	<0.0005
カドミウム及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
鉛及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
有機燐化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNIに限る。)	mg/l			≦0.5	<0.1
六価クロム化合物	mg/l			≦0.25	<0.05
砒素及びその化合物	mg/l			≦0.05	0.01
シアン化合物	mg/l			≦0.5	<0.1
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/l			≦0.0015	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/l			≦0.15	<0.03
テトラクロロエチレン	mg/l			≦0.05	<0.01
ジクロロメタン	mg/l			≦0.1	<0.02
四塩化炭素	mg/l			≦0.01	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/l			≦0.02	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.1	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l			≦0.2	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l			≦1.5	<0.3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l			≦0.03	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/l			≦0.01	<0.002
チウラム	mg/l			≦0.03	<0.006
シマジン	mg/l			≦0.015	<0.003
チオベンカルブ	mg/l			≦0.1	<0.02
ベンゼン	mg/l			≦0.05	<0.01
セレン及びその化合物	mg/l			≦0.05	<0.01
ホウ素及びその化合物	mg/l			≦5	<1
フッ素及びその化合物	mg/l			≦4	<0.8
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/l	≦50	<0.1		
1,4-ジオキサン	mg/l	≦0.5	<0.005		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	H26.10.23	H26.11.17	≦0.1	0.018
PCDDS + PCDFS	pg-TEQ/l			—	0
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.018

【備考】

平成26年度 奥山埋立処分地周縁地下水

① 地下水の水質（月1回実施項目）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		11月	12月	1月	2月	3月
採水日		H26.4.10	H26.5.8	H26.6.12	H26.7.10	H26.8.6	※	H26.10.9	H26.10.23	H26.11.13	H26.12.11	H27.1.15	H27.2.13	H27.3.12
検査結果日		H26.4.21	H26.5.22	H26.6.20	H26.7.16	H26.8.15	※	H26.10.22	H26.11.7	H26.11.26	H26.12.25	H27.1.29	H27.2.24	H27.3.24
塩化物イオン (mg/l)	NO. 7	11	22	29	10	17	※	17	14	15	18	18	17	15
	NO. 5	4.0	15	13	9.5	24	※	11	11	11	18	18	18	15

※ 地下水の測定につきましては、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、第一条第二項第十号ハに基づき、塩化物イオンを測定しています。

※ 参考基準 … 飲料水基準では200mg/l以下

※ 9月の測定については、欠測のため、10月に2回行いました。

平成26年度 奥山埋立処分地周縁地下水

② 地下水の水質（年1回実施項目）

測定項目	単位	採水日	検査結果日	基準値	No.7	No.5
カドミウム	mg/l	H26.5.8	H26.5.22	≤0.01	<0.001	<0.001
全シアン	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
鉛	mg/l			≤0.01	0.001	0.009
六価クロム	mg/l			≤0.05	<0.005	<0.005
砒素	mg/l			≤0.01	<0.001	0.012 ※
総水銀	mg/l			≤0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
ポリ塩化ビフェニル	mg/l			検出されないこと	不検出	不検出
トリクロロエチレン	mg/l			≤0.03	<0.003	<0.003
テトラクロロエチレン	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	mg/l			≤0.02	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/l			≤0.002	<0.0002	<0.0002
1・2-ジクロロエタン	mg/l			≤0.004	<0.0004	<0.0004
1・1-ジクロロエチレン	mg/l			≤0.1	<0.01	<0.01
1・2-ジクロロエチレン	mg/l			≤0.04	<0.004	<0.004
1・1・1-トリクロロエタン	mg/l			≤1.0	<0.1	<0.1
1・1・2-トリクロロエタン	mg/l			≤0.006	<0.0006	<0.0006
1・3-ジクロロプロペン	mg/l			≤0.002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l			≤0.006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l			≤0.003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l			≤0.02	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
セレン	mg/l			≤0.01	<0.001	<0.001
1・4-ジオキサン	mg/l	≤0.05	<0.005	<0.005		
塩化ビニルモノマー	mg/l	≤0.002	<0.0002	<0.0002		
ダイオキシン類(計)	pg-TEQ/l	H26.7.1	H26.10.1	≤1.0	0.063	0.053
PCDDs + PCDFs	pg-TEQ/l			—	0.050	0.050
コプラナPCB	pg-TEQ/l			—	0.013	0.0026

※ 地下水の水質基準は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令、別表第二に基づくものです。

※ ダイオキシン類の基準値につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準値であります。

※ 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示すものです。

※ No.5井戸における基準値超過の砒素については、次頁「奥山埋立処分地内 No.5井戸地下水における砒素について」を参照ください。

奥山埋立処分地内 No.5井戸地下水における砒素について

		単位	5月8日	5月21日	6月4日	6月12日	6月17日	6月19日	6月25日	7月2日	基準値
No.5井戸地下水	測定結果	mg/l	0.012	-	0.004	0.004	0.008	-	0.008	0.009	0.01
	定量下限値	mg/l	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(環境基準)
浸出水	測定結果	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	-	-	<0.01	-	0.002	0.05
	定量下限値	mg/l	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.001)	(排水基準)

※7月2日以降、浸出水の定量下限値を地下水と同じ(0.001)に設定しております。

		単位	7月10日	7月16日	7月23日	7月30日	8月6日	8月14日	8月21日	8月28日	基準値
No.5井戸地下水	測定結果	mg/l	0.009	0.006	0.004	0.010	0.005	0.009	0.006	0.007	0.01
	定量下限値	mg/l	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(環境基準)
浸出水	測定結果	mg/l	0.002	0.001	0.001	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.05
	定量下限値	mg/l	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(0.001)	(排水基準)

* 砒素の環境基準超過については、上表のとおり継続して検査を実施し、環境基準を満足していることを確認しています。

環境基準超過の原因については、寺島泰京都大学名誉教授から、以下のとおりコメントをいただいています。

・次の理由により、埋立地浸出水が井戸水の水質に影響を与えているとは考えられず、他に井戸水の水質に影響を与える発生源等もない。

- ① 砒素濃度は、浸出水の方が井戸水より低いこと
 - ② 地下水位は、浸出水の方が井戸水より低いこと。
- ・地質的には大阪層群であり、大阪層群の地下水からは広く砒素が検出されている。
 ・これらのことから、環境基準超過の原因は地質の影響によるものと考えられる。

平成26年度 クリーン21長谷山放流水水質検査結果（4月～9月）

項目	単位	管理値	4月	5月	6月	7月	8月	9月
採水日	—	—	4月9日	5月7日	6月4日	7月2日	8月6日	9月3日
検査結果日	—	—	4月22日	5月20日	6月17日	7月29日	8月13日	9月17日
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.8	7.7	6.8	7.1	6.9	6.9
生物化学的酸素要求量	mg/l	≦8	1.0	1.7	<0.5	0.5	1.1	<0.5
化学的酸素要求量(月平均値)	mg/l	≦20	5.1	4.2	2.3	1.1	2.3	1.8
浮遊物質	mg/l	≦10	1	<1	<1	<1	<1	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.09	<0.05
亜鉛含有量	mg/l	≦2	0.14	0.16	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	3.9	1.4	<0.05	<0.05	2.8	<0.05
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
大腸菌群数	個/cm ³	≦1	0	0	0	0	0	0
窒素含有量	mg/l	≦8	1.7	1.4	1.8	0.8	2.7	1.5
燐含有量	mg/l	≦0.5	0.02	0.05	0.01	0.02	<0.01	<0.01
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	0.29	0.20	0.25	0.01	0.31	0.08
ふっ素及びその化合物	mg/l	≦4			<0.8		<0.8	
ほう素及びその化合物	mg/l	≦5			<1		<1	
カドミウム及びその化合物	mg/l	≦0.05						
シアン化合物	mg/l	≦0.5						
有機燐化合物	mg/l	≦0.5						
鉛及びその化合物	mg/l	≦0.05						
六価クロム化合物	mg/l	≦0.25						
ヒ素及びその化合物	mg/l	≦0.05						
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l	≦0.0025						
アルキル水銀化合物	mg/l	検出されないこと						
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/l	≦0.0015						
トリクロロエチレン	mg/l	≦0.15						
テトラクロロエチレン	mg/l	≦0.05						
ジクロロメタン	mg/l	≦0.1						
四塩化炭素	mg/l	≦0.01						
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	≦0.02						
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	≦0.1						
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	≦0.2						
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	≦1.5						
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	≦0.03						
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	≦0.01						
チウラム	mg/l	≦0.03						
シマジン	mg/l	≦0.015						
チオベンカルブ	mg/l	≦0.1						
ベンゼン	mg/l	≦0.05						
セレン及びその化合物	mg/l	≦0.05						
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/l	≦50			1.1		0.9	
1, 4-ジオキサン	mg/l	≦0.5						

平成26年度 クリーン21長谷山放流水水質検査結果（10月～3月）

項目	単位	管理値	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採水日	—	—	10月2日	11月6日	12月11日	1月15日	2月13日	3月12日
検査結果日	—	—	10月17日	11月19日	12月22日	1月28日	2月25日	3月23日
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.8	7.2	6.8	6.9	6.7	6.8
生物化学的酸素要求量	mg/l	≦8	<0.5	<0.5	1.1	0.9	0.7	0.7
化学的酸素要求量(月平均値)	mg/l	≦20	2.9	2.8	3.3	3.0	3.2	2.4
浮遊物質	mg/l	≦10	<1	<1	<1	3	<1	1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	mg/l	≦4	<1	<1	<1	<1	<1	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)	mg/l	≦24	<1	<1	<1	<1	<1	<1
フェノール類含有量	mg/l	≦0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅含有量	mg/l	≦0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛含有量	mg/l	≦2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/l	≦1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
溶解性マンガン含有量	mg/l	≦3.9	0.17	0.05	0.09	0.14	0.16	<0.05
クロム含有量	mg/l	≦1.6	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
大腸菌群数	個/cm ²	≦1	0	0	0	0	0	0
窒素含有量	mg/l	≦8	3.9	2.7	2.7	2.4	1.2	1.3
燐含有量	mg/l	≦0.5	0.01	<0.01	0.03	0.01	<0.01	0.02
ニッケル含有量	mg/l	≦1.6	0.17	0.13	0.10	0.15	0.07	0.05
ふっ素及びその化合物	mg/l	≦4		<0.8				
ほう素及びその化合物	mg/l	≦5		<1				
カドミウム及びその化合物	mg/l	≦0.05		<0.01				
シアン化合物	mg/l	≦0.5		<0.1				
有機燐化合物	mg/l	≦0.5		<0.1				
鉛及びその化合物	mg/l	≦0.05		<0.01				
六価クロム化合物	mg/l	≦0.25		<0.05				
ヒ素及びその化合物	mg/l	≦0.05		<0.01				
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/l	≦0.0025		<0.0005				
アルキル水銀化合物	mg/l	検出されないこと		不検出				
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/l	≦0.0015		<0.0005				
トリクロロエチレン	mg/l	≦0.15		<0.03				
テトラクロロエチレン	mg/l	≦0.05		<0.01				
ジクロロメタン	mg/l	≦0.1		<0.02				
四塩化炭素	mg/l	≦0.01		<0.002				
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	≦0.02		<0.004				
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	≦0.1		<0.02				
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	≦0.2		<0.04				
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	≦1.5		<0.3				
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	≦0.03		<0.006				
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	≦0.01		<0.002				
チウラム	mg/l	≦0.03		<0.006				
シマジン	mg/l	≦0.015		<0.003				
チオベンカルブ	mg/l	≦0.1		<0.02				
ベンゼン	mg/l	≦0.05		<0.01				
セレン及びその化合物	mg/l	≦0.05		<0.01				
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/l	≦50		1.6				
1, 4-ジオキサン	mg/l	≦0.5		<0.005				

(2) 有害物質・危険物の管理

有害物質の保有

ポリ塩化ビフェニル廃棄物 (平成27年3月末現在)

開閉器	1台
安定器・蛍光灯安定器	180個
高圧トランス	2台
リアクトル	2台
高圧トランス	1台
誘導電圧調整器	1台
複合汚染物 (ウエス等)	約1L

廃 PCB として、管理要領を定めて、厳重に保管しています。

サイト	要領書
クリーンピア沢	EMP10-S-12 廃 PCB 管理要領

毒物及び劇物取締法で指定されている薬品、燃料等の危険物についても、管理要領を定めて厳重に管理しています。

(3) 緊急事態の特定・訓練

各サイトでは、環境に影響を与える可能性のある潜在的な緊急事態及び事故を特定するとともに、その対応についての緊急事態特定・対応要領を作成しています。また緊急事態の対応は、緊急事態や事故が生じないように、前もって注意することを含め、発生確率を減らすことを目指します。特定した緊急事態について定期的にテストし、その有効性を確認し、維持するとともに、テストの結果について緊急事態訓練記録を残しています。

緊急事態特定・対応表		
サイト	緊急事態特定	緊急事態要領書
本庁	緊急事態対応管理項目なし	
クリーンピア沢	地下灯油タンク火災	EMP11-01-S-2 地下灯油タンク火災対応要領
	工場火災	EMP11-01-S-3 工場火災対応要領
	汚水漏出	EMP11-01-S-4 汚水等漏出対応要領
	薬品漏洩	EMP11-01-S-6 緊急事態薬品漏洩対応要領
	設備故障	EMP11-01-S-22 設備故障対応要領
ごみ中継場	火災	EMP11-11-01G16 火災による緊急事態対応要領
	交通事故・車両故障	EMP11-11-01G17 交通事故・車両故障による緊急対応の管理要領
	爆発	EMP11-11-01G18 爆発による緊急事態対応要領
	危険物漏洩	EMP11-11-01G19 危険物漏洩 (油漏れ等) による緊急事態対応要領
折居清掃工場	薬品漏洩	EMP447-OSK-1 薬品漏洩防止要領
	ピット火災	EMP447-OSK-2 ピット火災緊急事態要領
	入れ間違いによる有毒ガスの発生	EMP447-OSK-3 薬品納入時における入れ間違いによる緊急事態要領
	落雷停電	EMP447-OSK-4 焼却炉運転中の落雷停電における要領書
	排ガスの漏洩	EMP447-OSK-5 排ガス漏洩緊急事態要領

	排ガスの漏洩	EMP447-OSK-6 ガス洗浄塔バイパス緊急事態要領
	排ガス、ばいじんの漏洩	EMP447-OSK-7 バグフィルターバイパス緊急事態要領
	排ガス、ばいじんの漏洩	EMP447-OSK-8 バグフィルターろ布の破れ緊急事態要領
グリーンヒル三郷山	ゲリラ豪雨	EMP447-GHS-1 ゲリラ豪雨対策要領
	薬品漏洩	EMP447-GHS-2 薬品漏洩防止要領
	火災	EMP447-GHS-3 緊急事態火災対応要領
	薬品の入れ間違い等による有毒ガス発生	EMP447-GHS-6 薬品の入れ間違い等による有毒ガスの発生防止要領
奥山リユースセンター	施設火災・爆発	EMP447-ORC-1 緊急事態破砕施設（不燃ごみピット、コンベア、破砕機等）火災・爆発対応要領
	スプレー缶穴あけ作業 火災・爆発	EMP447-ORC-2 緊急事態スプレー缶穴あけ作業火災・爆発対応要領
	少量危険物貯留所火災	EMP447-ORC-3 緊急事態少量危険物貯留所（軽油・灯油タンク）火災対応要領
	ストックヤード火災	EMP447-ORC-4 緊急事態ストックヤード（剪定枝・鉄ダスト等）火災対応要領
	小型消防ポンプ	EMP447-ORC-6 小型消防ポンプ消火活動要領
クリーン 2 1 長谷山	ピット火災	EMP447-C21-1 ピット火災緊急対応要領
	アンモニア漏洩	EMP447-C21-2 アンモニア漏洩時の対応
	排ガス異常時	EMP447-C21-3 排ガス異常時の対応
エコ・ポート長谷山	危険物保管所火災	EMP447-EPH-1 危険物保管場所火災による緊急事態対応要領

緊急事態訓練

サイト	実施日	訓練内容
クリーンピア沢	H26. 5. 20	地下灯油タンク火災想定のもと初期消火訓練
	H27. 3. 26	搬入室投入口からの浄化槽汚泥漏出想定のもと拡散防止の初期活動訓練 薬品搬入車両の配管損傷による薬品漏出想定のもと拡散防止活動訓練 脱臭バーナー付近からの火災想定のもと初期消火訓練
折居清掃工場	H26. 9. 1	地震による薬品流出想定のもと被害拡大防止措置訓練
	H27. 1. 22	ごみ計量室火災想定のもと初期消火訓練
クリーン 2 1 長谷山	H26. 10. 22	ごみピット内火災想定のもと避難誘導指導及び初期消火訓練
	H27. 3. 18	NOx 管理値超過想定のもと初期対応訓練
ごみ中継場	H26. 11. 17	本庁管理棟火災想定のもと消火訓練
	H27. 3. 12	コンテナ火災想定のもと消火訓練
グリーンヒル三郷山	H27. 2. 25	三郷山埋立処分地内から出火想定のもと初期消火訓練 地震による薬品流出想定のもと被害拡大防止措置訓練
エコ・ポート長谷山	H26. 11. 20	ペットボトル選別現場付近にて火災発生想定のもと火災訓練
	H27. 3. 23	工場棟地階不適物貯留場火災想定のもと初期消火訓練

(4) 環境教育・訓練

サイト	実施日	研修内容
総務課	H26. 5. 19	推進員研修の内容伝達周知 OA用紙使用平成26年度目標設定について
	H26. 8. 11	環境自主宣言の葉内容確認
	H27. 1. 19	I S O推進全般事項の周知（外部審査日程・I S O順守 項目管理システムの紹介・報告資料の回覧、周知） OA用紙使用状況
	H27. 3. 12	I S O推進全般事項の周知（冷暖房機器等管理表の作 成、登録・簡易点検実施、報告・定期点検の実施） 清掃当番・OA用紙使用状況
財政課	H26. 8. 5	推進員研修の内容伝達周知
	H26. 9. 5	環境自主宣言の葉内容確認
	H27. 3. 5	推進員研修の内容伝達周知
	H27. 3. 30	地球温暖化防止研修内容の伝達
業務課	H26. 7. 3 H26. 8. 29 H26. 9. 1	環境自主宣言の葉内容確認
	H26. 12. 26 H27. 3. 26	環境マネジメントマニュアル周知研修
会計課	H26. 7. 31 H26. 12. 24	容器包装リサイクル法周知研修
	H26. 8. 11	環境自主宣言の葉内容確認
	H27. 3. 4	サーマルリサイクルについて
EMS事務局	H26. 4. 28	第1回環境推進員研修（環境推進員の職務、目的目標及 び監視測定の結果報告・請負者供給者のみなさんへ・その他）
	H26. 7. 24 H26. 7. 28	新規内部環境監査員養成研修
	H26. 7. 25	新任運転担当職員フォローアップ研修（法の目的・廃棄 物処理に関する責務・清潔の保持・市町村の処理・一般 廃棄物処理施設の維持管理）
	H26. 7. 31	第2回環境推進員研修（環境推進員の職務・目的目標及 び監視測定の結果報告・コンポスト報告・その他）
	H26. 9. 19	新任運転担当職員フォローアップ研修（ダイオキシン類 とは・物の燃焼・運転編・自動燃焼制御装置）
	H26. 10. 14	平成26年度内部監査員スキルアップ研修
	H26. 10. 16	新任運転担当職員フォローアップ研修（計装設備・計装 の基礎・異常措置）
	H26. 10. 31	第3回環境推進員研修（環境推進員の職務・目的目標及 び監視測定の結果報告・順守項目管理システム・その他）
	H26. 11. 20	新任運転担当職員フォローアップ研修（保守点検とその 意義・保守点検の種類と方法・保守点検作業の実際・各 設備における保守点検の概要）
	H26. 12. 12 H27. 1. 23	廃棄物処理法周知研修
H26. 12. 18	新任運転担当職員フォローアップ研修（計装系統図と現 場計器の関係・ポンプ運転時の操作・ファン運転時の操 作・ボイラーブロー体験）	

	H27. 1. 15	新任運転担当職員フォローアップ研修（焼却炉運転に係る基礎知識の確認・設備処理工程比較）
	H27. 1. 27	第4回環境推進員研修（環境推進員の職務、目的目標及び監視測定の結果報告・順守項目管理システム・その他）
	H27. 2. 19	新任運転担当職員フォローアップ研修（安全、安全使用について）
	H27. 2. 20 H27. 2. 24	大気汚染防止法周知研修
	H27. 3. 20	新任運転担当職員フォローアップ研修（NOx 排出防止技術・CO 抑制運転・NOx、SOx、HCl の除去フロー）
	H27. 3. 23	地球温暖化防止研修
クリーンピア沢	H26. 4. 3	①電気・灯油使用量について（3月分） ②水質検査結果について（3月分） ③DO・水温調査結果について（3月分） ④日常管理要領の見直し（水処理管理要領・中央監視要領） ⑤平成26年度環境教育・訓練計画
	H26. 5. 12	①電気・灯油使用量について（4月分） ②水質検査結果について（4月分） ③DO・水温調査結果について（4月分） ④日常管理要領の見直し（緊急時連絡要領・次亜塩素酸ソーダ注入要領）
	H26. 7. 10	①電気・灯油使用量について（5、6月分） ②水質検査結果について（5、6月分） ③DO・水温調査結果について（5、6月分） ④日常管理要領の見直し（悪臭防止管理要領・電力消費節減要領・乾燥焼却設備運転管理要領・汚泥脱水設備運転管理要領）
	H26. 9. 16	①電気・灯油使用量について（7、8月分） ②水質検査結果について（7、8月分） ③DO・水温調査結果について（7、8月分） ④日常管理要領の見直し（廃棄物管理要領・焼却灰適正管理要領・危険物倉庫適正管理要領・廃PCB管理要領）
	H26. 11. 25	①電気・灯油使用量について（9、10月分） ②水質検査結果について（9、10月分） ③DO・水温調査結果について（9、10月分） ④日常管理要領の見直し（オゾン漏洩防止要領・危険物タンク適正管理要領・冷媒ガス漏洩要領・オイル等流出防止要領・焼却灰適正管理要領）
	H26. 12. 19	①電気・灯油使用量について（11月分） ②水質検査結果について（11月分） ③DO・水温調査結果について（11月分） ④日常管理要領の見直し（水質試験薬品等管理要領・測定機器管理要領）
	H27. 1. 13	①電気・灯油使用量について（12月分） ②水質検査結果について（12月分） ③DO・水温調査結果について（12月分） ④日常管理要領の見直し（薬品等受入管理要領）

	H27. 3. 12	①電気・灯油使用量について（1、2月分） ②水質検査結果について（1、2月分） ③DO・水温調査結果について（1、2月分） ④日常管理要領の見直し（停電対応要領・設備故障対応要領）
施設課・ごみ中継場	H26. 6. 3 H26. 6. 11	環境マネジメントプログラム 26 年度目標
	H27. 2. 5	平成 25 年度環境マネジメントプログラム結果 平成 26 年度環境マネジメントプログラム進捗状況 外部監査結果
	H27. 3. 10 H27. 3. 16	京都府の温室効果ガス排出量の状況 温室効果ガス削減目標 アイドリングストップ遵守の義務化 エコドライブについて
折居清掃工場	H26. 4. 3	要領書の確認及び教育（工場運転における排ガス適正管理要領・ダイオキシン類の発生削減要領）
	H26. 5. 7	要領書の確認及び教育（設備電気の使用量削減要領・焼却灰の適正管理要領）
	H26. 6. 4	要領書の確認及び教育（用水使用量削減要領・灯油・プロパンガス使用量削減要領）
	H26. 7. 2	要領書の確認及び教育（潤滑油適正使用要領・廃油の適正処理管理要領・排ガス漏洩緊急事態要領）
	H26. 8. 4	要領書の確認及び教育（ごみ収集車搬入時における排気ガス削減要領・薬品漏洩防止要領・バグフィルターバイパス緊急事態要領）
	H26. 8. 21～ 22	災害時における作業手順（停電）
	H26. 9. 5	要領書の確認及び教育（ごみ収集車搬入時における臭気発生防止要領・ピット火災緊急事態要領・ガス洗浄塔バイパス緊急事態要領）
	H26. 10. 2	要領書の確認及び教育（薬品納入時における入れ間違いによる緊急事態要領・焼却炉運転中の落雷停電における要領・バグフィルターろ布の破れ緊急事態要領）
	H26. 12. 11	要領書の確認及び教育（機器のメンテナンスにおける廃棄物削減要領・公用車におけるガソリン使用削減要領・排ガス漏洩緊急事態要領）
	H27. 2. 4	要領書の確認及び教育（ガス洗浄塔バイパス緊急事態要領・バグフィルターバイパス緊急事態要領）
	H27. 3. 3	要領書の確認及び教育（工場運転における排ガス適正管理要領・バグフィルターろ布の破れ緊急事態要領）
H27. 3. 9 ～ 11 H27. 3. 13 H27. 3. 16	事故対応マニュアル改訂部の周知	
グリーンヒル三郷山	H26. 6. 10	要領書の確認及び教育（薬品の入れ間違い等による有毒ガスの発生防止要領）
	H26. 8. 28	要領書の確認及び教育（電気使用量削減要領・公用車・重機における軽油使用量削減要領）
	H26. 10. 21	要領書の確認及び教育（公用車におけるガソリン使用量

		削減要領)
	H26. 12. 25	要領書の確認及び教育（中央監視要領・奥山排水処理施設維持管理要領）
奥山リユースセンター	H26. 6. 5	要領書の確認及び教育（上水使用量削減要領・電気使用量削減要領）
	H26. 8. 14	環境自主宣言の葉内容確認
クリーン21長谷山	H26. 4. 22	環境マネジメントプログラム平成 25 年度の確認及び評価
	H26. 5. 14	要領書の確認及び教育（電力消費量削減要領）
	H26. 6. 11	要領書の確認及び教育（灯油使用量削減要領）
	H26. 7. 16	要領書の確認及び教育（集じん灰処理設備運転管理要領）
	H26. 8. 22	環境自主宣言の葉内容確認
	H26. 9. 11	要領書の確認及び教育（ばいじん処理物・燃え殻中のダイオキシン類基準値超過処理要領）
	H26. 10. 23	環境マネジメントプログラム上半期の確認及び評価
	H26. 11. 18	要領書の確認及び教育（焼却灰熱灼減量管理要領）
	H26. 12. 16	要領書の確認及び教育（有毒ガス等の発生抑制運転要領）
	H27. 1. 20	要領書の確認及び教育（1 段目ろ過式集じん器管理要領）
	H27. 3. 17	要領書の確認及び教育（排ガス異常時の対応要領）
エコ・ポート長谷山	H26. 5. 9	要領書の確認及び教育（電力消費削減要領）
	H26. 5. 12	
	H26. 6. 9 ~ 10	要領書の確認及び教育（軽油適正管理要領）
	H26. 7. 4	エコドライブ研修
	H26. 7. 8	
	H26. 8. 5	要領書の確認及び教育（作動油適正管理要領）
	H26. 8. 7	
	H26. 9. 5	環境自主宣言の葉内容確認
	H26. 9. 5	要領書の確認及び教育（灯油適正管理要領）
	H26. 9. 9	
	H26. 10. 3	要領書の確認及び教育（サービスタンク室適正管理要領）
	H26. 10. 10	
	H26. 11. 10	要領書の確認及び教育（LP ガス適正管理要領）
	H26. 11. 13	
	H26. 12. 8	要領書の確認及び教育（重機・車両の燃料使用量削減要領）
	H26. 12. 11	
	H27. 1. 9	要領書の確認及び教育（過積載防止適正管理要領 A）
	H27. 1. 19	
	H27. 2. 9	要領書の確認及び教育（過積載防止適正管理要領 B）
	H27. 2. 12	
	H27. 3. 6	要領書の確認及び教育（過積載防止適正管理要領 C）
	H27. 3. 10	

5 目的・目標の達成状況（平成26年度）

各サイトでは目的・目標の結果について集約し、未達成の場合は是正内容を検討し、改善しています。

環境目的	環境目標	適用サイト	達成程度
環境保全及びコンプライアンス意識を持った職員の養成	職員の意識向上のための研修を適宜実施する	安全推進室	(目標) 適宜実施 (実績) 13件 (達成状況) ○ : 適宜実施
省エネルギー・省資源の推進	曝気ブローア及びスカム破砕ポンプの電気使用量削減	クリーンピア沢	(目標) 2,255,509 kWh 以下 (実績) 2,238,884 kWh (達成状況) ○ : 16,625 kWh 減
	脱臭バーナー灯油使用量の節減	クリーンピア沢	(目標) 1,684.99 l/h 以下 (実績) 1,665.07 l/h (達成状況) ○ : 19.92 l減
	OA用紙の使用量を全体総量で1,435 枚以下	EMS 事務局	※サイト全体 (目標) 1,435 枚以下 (実績) 1,435 枚 (達成状況) ○ : ±0
	可燃ごみ 967.1 kg (平成25年実績) 以下 不燃ごみ 511.3 kg (平成25年実績) 以下	EMS 事務局	※サイト全体 (目標) 可燃ごみ 967.1 kg 以下 不燃ごみ 511.3 kg 以下 (実績) 可燃ごみ 973.4 kg 不燃ごみ 501.9 kg (達成状況) 可燃ごみ × : 6.3 kg 増 不燃ごみ ○ : 9.4 kg 減
	電気使用量を 429,669 kWh 以下にする	グリーンヒル三郷山	(目標) 429,669 kWh 以下 (実績) 423,024 kWh (達成状況) ○ : 6,645 kWh 減
	公用車・重機における軽油使用量を対前年度比20% (10,812 l) 以上削減する	グリーンヒル三郷山	(目標) 10,812 l以下 (13,516 (平成25年度) × 0.8) (実績) 24,572 l (達成状況) × : 13,760 l増
	公用車におけるガソリン使用量を対前年度比10% (2,208 l) 以上削減する	グリーンヒル三郷山	(目標) 2,208 l以下 (2,454.15 (平成25年度) × 0.9) (実績) 1,946.97 l (達成状況) ○ : 261.03 l減
	灯油使用量を前年度使用量より削減する	クリーン21長谷山	(目標) 179,221 l以下 (実績) 253,651 l (達成状況) × : 74,430 l増
	電気年間使用量を平成26年度予算ベースより削減する	クリーン21長谷山	(目標) 10,657,826 kWh 以下 (実績) 9,737,868 kWh (達成状況) ○ : 919,958 kWh 減
電気使用量を平成24年度実績から1%削減する	エコ・ポート長谷山	(目標) 225,324 kWh 以下 (実績) 226,100 kWh (達成状況) × : 776 kWh 増	

環境目的	環境目標	適用サイト	達成程度
	軽油使用量を平成 23 年度実績以下とする	エコ・ポート 長谷山	(目標) 3,688.13 ℓ以下 (実績) 3,892.79 ℓ (達成状況) × : 204.66 ℓ増
上水使用量の削減	使用量を平成 25 年度使用量以下とする	奥山リユース センター	(目標) 2,706.8 m ³ 以下 (実績) 2,362.3 m ³ (達成状況) ○ : 344.5 m ³ 減
電気使用量の維持	使用量を 1t 当たり 29.00 kWh 以下とする	奥山リユース センター	(目標) 1 t 当たりの使用量を 29.00 kWh 以下 (実績) 39.70 kWh/t (達成状況) × : 10.7 kWh/t 増
ガソリン使用量の削減	使用量を平成 25 年度目標値 (808.77 ℓ) 以下にする	折居清掃工場	(目標) 808.77 ℓ以下 (実績) 936.83 ℓ (達成状況) × : 128.06 ℓ増
用水使用量の削減	ごみ処理 1t 当たりの使用量を平成 25 年度使用量 (0.96 m ³) 以下にする	折居清掃工場	(目標) 0.96 m ³ /t 以下 (実績) 0.82 m ³ /t (達成状況) ○ : 0.14 m ³ /t 減
設備電気使用量の削減	ごみ処理 1t 当たりの使用量を平成 25 年度使用量 (191.79 kWh) 以下にする	折居清掃工場	(目標) 191.79 kWh/t 以下 (実績) 170.34 kWh/t (達成状況) ○ : 21.45 kWh/t 減
メンテナンスによる廃棄物の発生抑制	部分再利用率を平成 25 年度、平成 26 年度の 2 年間で (70 %) 以上にする	折居清掃工場	(目標) 70 %以上 (実績) 66.8 % (達成状況) × : 3.2 %減
環境問題に関する内部組織の充実	運用管理者実施の所属別研修を年 4 回以上行う	本庁管理棟	(目標) 4 回以上 (実績) 4 回 (達成状況) ○
剪定樹木のリサイクルの拡大	剪定樹木のリサイクルの拡大	施設課	(目標) 1,848 m ³ 以上 (実績) 2,203 m ³ (達成状況) ○ : 355 m ³ 増
環境問題への行政施策及び住民への啓発活動の充実	ごみ処理基本計画によるごみ削減率 4.0%、資源化率 22.2 % (平成 22 年度実績比)	施設課	平成 33 年度に向けて目標を達成できるように進捗管理を行った。 ごみ削減率 2.9% 資源化率 18.9%
省エネルギー・省資源の推進	燃料使用量削減 (軽油) (平成 23~25 年度の平均値 (30,395 ℓ) 以下にする	ごみ中継場	(目標) 30,395 ℓ (実績) 27,843.63 ℓ (達成状況) ○ : 2,551.37 ℓ減
コンプライアンス (法令順守) の取り組み	ごみ中継車両の過積載車「ゼロ」を実行する	ごみ中継場	(目標) 0 (実績) 0 (達成状況) ○

グリーン購入

グリーン購入推進要領を策定し、平成14年4月1日から実施しています。環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指しています。

平成26年度における特定調達物品（重点的に調達を推進すべき環境物品等）の調達実績は、全94品目のうち、全く購入がなかった品目（29品目）を除く65品目中、51品目（78.5%）において、特定調達物品等の調達率95%以上を達成することができました。

年度	H26
① 特定調達品目数	65
② 調達率95%以上の品目数	51
②/①割合	78.5%

6 環境に関連する事案等（平成26年度）

項目	発生件数
事案	1件
事故	0件
停電等トラブル	0件
苦情	0件
意見・情報提供	0件
事案概要	是正処置
<p>○クリーン21長谷山事案について</p> <p>平成22年6月14日に採取したばいじん処理物から、基準値（3ng-TEQ/g）を超える3.8ng-TEQ/gのダイオキシン類が検出され、一部を除き、クリーン21長谷山内のストックヤードで保管していたものの、再測定を行い基準値を満足していたことから、大阪湾広域臨海環境整備センター（以下「センター」という。）への搬出を再開しましたが、これらの経過について、センターへの報告を怠っていました。</p> <p>また、センターが、堺基地において平成26年6月17日に実施した抜取検査において、クリーン21長谷山から搬入されたばいじん処理物から、7.1ng-TEQ/gのダイオキシン類が検出されました。</p> <p>以上により、センターより6月23日付けで搬入停止処分を受けました。</p>	<p>ダイオキシン類の発生抑制のための適正な設備管理、運転管理を徹底するとともに、経年堆積によりろ布表面に付着固定したばいじんの落下防止対策を実施することにしました。</p> <p>さらに、内部管理体制については、現在取組んでいる法令順守の徹底に向けた職員への教育・指導、職員の意識改革等を徹底するとともに、今回の事案を踏まえ、基準値超過時の具体的な対応を定めた「基準値超過時の対応指針（ばいじん、燃え殻中のダイオキシン類）」を作成し、全職員に徹底することにしました。</p> <p>以上により、12月22日をもってセンターへの搬入停止措置が解除され、ばいじん処理物の搬出を再開しました。</p>

7 環境方針に基づく目的・目標（平成27年度）

本組合における環境目的及び目標は、環境方針と整合するよう次の事項を考慮に入れて作成しています。

- (1) 適用可能な関連する法的及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- (2) 著しい環境側面
- (3) 住民への影響及び利害関係者の意見
- (4) 財務上の制約及び技術的見地からの実現の可能性
- (5) 必要な予算や人材・設備確保の有無
- (6) 汚染の予防に関する事項
- (7) 目的目標の継続的な改善
- (8) 目的目標の可能な限りの定量化

環境方針	環境目的	環境目標	適用サイト
環境関連法規制及び当組合が定めた自主基準の順守の徹底に向け、職員の教育、指導及び監査の機会を充実させます。	環境保全及びコンプライアンス意識を持った職員の養成	職員の意識向上のための研修を適宜実施する	安全推進室
環境影響の発生を未然に防止するため必要となる工場運営の技術、知識の確実な継承に向けたOJT活動を充実させます。	所属内の技術、知識の共有化	一般研修、力量研修の活性化を図る	全サイト
高度な処理水質の維持及び臭気対策や、ダイオキシン類削減をはじめとする大気汚染防止を徹底します。	公害防止基準の遵守	排水を基準値以下とする	クリーンピア沢 グリーンヒル三郷山 クリーン21長谷山
		排ガスを基準値以下とする	クリーンピア沢 折居清掃工場 クリーン21長谷山
適正な設備管理及び運転管理を徹底し、廃棄物を適正に処理します。	維持管理項目にて管理		
温室効果ガスの削減を目的に、再生可能エネルギーの有効利用を進めます。	維持管理項目にて管理		
電気、灯油、地下水、OA用紙等の資源・エネルギーの削減及び有効利用と、廃棄物抑制を基本とする3Rの取組みを進めます。	省エネルギー・省資源の推進	電気使用量を平成25年度の実績（2,255,509 kWh）以下とする	クリーンピア沢
		焼却設備の灯油使用量を平成25年度実績（313,687 ℓ）以下とする	クリーンピア沢
		中継車（4台）の燃費を平成26年度実績に対して維持・向上する	ごみ中継場
		OA用紙の使用量を全体総量で1,383 ㍻以下とする	EMS事務局

環境方針	環境目的	環境目標	適用サイト
		可燃ごみ 967.1 kg (平成 25 年実績) 以下とする 不燃ごみ 501.9 kg (平成 26 年実績) 以下とする	EMS 事務局
		電気使用量を 215,169 kWh 以下とする	グリーンヒル 三郷山
		4 t ダンプ・バキューム車における軽油使用量を 4,800 l 以下とする	グリーンヒル 三郷山
		公用車におけるガソリン使用量を 1,557 l 以下とする	グリーンヒル 三郷山
		灯油使用量を前年度使用量 (253,651 l) 以下とする	クリーン 2 1 長谷山
		電気使用量を平成 27 年度予算ベースより削減する	クリーン 2 1 長谷山
		施設の電気使用量を平成 24 年度電気使用量から 1%削減した実績 (225,324 kWh) 以下とする	エコ・ポート 長谷山
		施設の軽油使用量を平成 24 年度の軽油使用量実績 (3,750.1 l) 以下とする	エコ・ポート 長谷山
		上水の使用量を平成 26 年度使用量 (2,362.3 m ³) 以下とする	リサイクルセンター長谷山
		電気の使用量を平成 27 年度予算使用量 (652,244 kWh) 以下とする	リサイクルセンター長谷山
		ガソリン使用量を平成 24 年度実績 (808.77 l) 以下とする	折居清掃工場
		ごみ処理量 1 トン当たりの用水使用量を平成 26 年度実績 (0.82 m ³) 以下とする	折居清掃工場
		ごみ処理量 1 トン当たりの設備電気使用量を平成 26 年度実績 (170.34 kWh) 以下とする	折居清掃工場
ISO の精神を十分に踏まえ、グリーン購入や壁面緑化、エコドライブなど、環境改善に寄与する活動を積極的に推進します。	環境問題に関する内部組織の充実	代表環境運用管理者実施の所属別研修を年 4 回以上行う	本庁管理棟
剪定樹木のリサイクルに努めます。	剪定樹木のリサイクルの拡大	剪定枝チップ化物を無料配布とし、1 年間に 1,245 m ³ 配布する	施設課
環境マネジメントシステムを日常業務に応用し、活用します。	維持管理項目にて管理		